

グローバル教育プロジェクト第1弾 和田中グローバル・ゲートウェイ (WGG) 活動報告

日付：2019年7月30日(火)

時間：13:30～15:00

場所：多摩市立和田中学校

中央大学の留学生と多摩市立和田中学校の生徒がオール・イングリッシュで交流をするという和田中学校グローバル・ゲートウェイを実施しました。今回の企画は、和田中学校のご協力のもと、企画から運営までの全てを学校応援プロジェクトに参加する中大生が行いました。当日は中大生20名(留学生6名、日本人学生14名)で中学校を訪問し、中学生25名と交流をしました。

開会式(Opening Ceremony)の司会から英語で行い、アイスブレイクでは絵合わせゲームの説明を、中学生にもわかりやすいように大きな身振りでデモンストレーションしました。

“Are you OK?” “Yes, I’m OK!” を合言葉に、楽しい雰囲気でもプログラムが始まりました。



プログラムは、7つのブースに分かれて行われました。留学生とビンゴゲームやI'mバスケット（フルーツバスケットをアレンジしたもの）を行うゲームセッション、留学生が自国の文化紹介を行うヒアリングセッション、中学生に日本文化のお題を引いてもらい、その絵柄について英語で説明してもらうスピーキングセッションなど、楽しく英語を使えるように工夫した内容でした。

中学生がわかるまで、丁寧にやさしく話す留学生やこっそりヒントを出して中学生を助ける中大生の姿も見られ、とてもほのぼのとした雰囲気の中プログラムは進みました。

中学生が多くの留学生と触れ合えるように、時間ごとにブースを移動してもらいましたが、中大生も留学生も笑顔を絶やさず、明るく接していたので、回を経るごとに中学生もリラックスしたようで、積極的にコミュニケーションを取っている姿が印象的でした。



90分間のプログラムでしたが、もっと話したかった！という声も聞こえるほど満足してもらえた内容であったと思います。

最後に校長先生より、「失敗しても恐れる必要はない。文法が間違っている、言いたいことは相手に伝わる。間違いを恐れるよりも、更に挑戦してたくさんの経験をするのが、成長につながる。今日の経験は必ず将来どこかで役にたつことでしょう。」とのお言葉をいただき、終了しました。

グローバル教育プロジェクトはこれからもたくさん学校現場に出ています！

和田中学校様、どうもありがとうございました！



【参加した中学生の声】 アンケート結果より抜粋

- ・ 普段できない体験ができてすごく楽しかった。笑顔で接することができたし、言葉があまりわからなくても表現で理解してもらえるんだなと感じた。
- ・ またこのように英語を学べる機会があれば参加したい。中央大学の方がとてもやさしく接してくれたので楽しかった。
- ・ 英語の自信がない人でも楽しく参加することができた。
- ・ 今日文化と趣味の共有をたくさんの人々と行えた気がします。これからも英語の会話を身に付けていきたいです。
- ・ 分からないことがあったりすると優しくサポートしてくれたので安心してできました。ありがとうございます！ Thank you!
- ・ 楽しかったです。また来てください！